

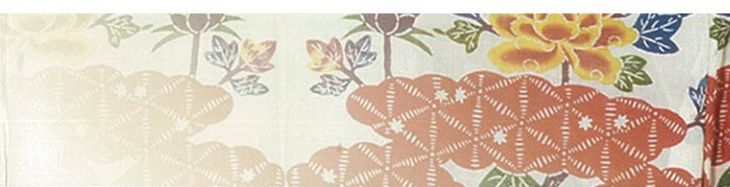


2019年度 展示案内

*展覧会の名称や期間など変更する場合があります。
*展示資料は変更する場合があります。

催事会場を下記の4つに色分けし、展示内容とともにご案内。

企画展 特別展示室 常設展示室 玉冠展示



4月

5月

6月

7月

8月

9月

常設展示「王朝文化と都市(まち)の歴史」をテーマに近世の首里・那覇の歴史と文化を紹介します。

鳥が描かれた紅型衣裳

琉球国王の衣裳

菖蒲の描かれた色違いの紅型衣裳

水色地の紅型衣裳

白地の紅型衣裳

縞と紺の夏衣裳

王家の宝刀I・千代金丸

王家の宝刀II・冶金丸

王家の宝刀III・北谷菜切

玉冠実物展示

4/26(金)~5/8(水)



【国宝】玉冠(付簪)



【国宝】赤地龍瑞雲嶮山文様織唐衣裳

那覇の市場

4月26日(金)~6月24日(月)

古くから琉球・沖縄の台所として栄えた戦前の那覇の市場。戦後はその場所を牧志に移し、最近では親しみを込めて「マチグラー」とも呼ばれています。

今回の企画展では、現在の公設市場が取り壊されるのにあたり、那覇の市場の歴史を紹介します。



戦前の東町野菜市場



戦後の市場

那覇のたからもの

6月28日(金)~9月2日(月)

身近なところにありながら普段はなかなかきづかない「那覇のたからもの」を博物館にあつめて公開します。市内小・中学校や公民館、図書館が保管している貴重な資料を展示します。



【国宝】金装宝剣拵(千代金丸)



【国宝】黄色地経縞枳形文様縞芭蕉衣裳

10月

11月

12月

1月

2月

3月

常設展示「王朝文化と都市(まち)の歴史」をテーマに近世の首里・那覇の歴史と文化を紹介します。

小柄の紅型衣裳

王家の象徴・龍と鳳凰の紅型衣裳

王国時代の冬衣裳

ロイヤルカラーの黄色地衣裳

臙型の紅型衣裳

花の文様の紅型衣裳

常設展特集展示

10・10空襲

9月6日(金)~10月28日(月)



米軍の攻撃で黒煙を吹き上げる軍用輸送船

1944年10月10日の米軍による那覇地区への爆撃について紹介します。

琉球船と首里・那覇を描いた絵画史料

11月1日(金)~12月25日(水)



首里那覇鳥瞰図屏風(伊江家資料)

2019年2月に、琉球船と首里・那覇を描いた図版史料集が刊行されました。掲載された史料には王国時代の船や首里・那覇の様子が描かれ、当時の街並みを知ることができます。

今回の企画展では、掲載された絵画史料の一部を展示し、戦前の写真資料とともに、往時の首里・那覇の街の様子を紹介します。

玉冠実物展示

11/1(金)~11/13(水)

古文書に見る首里・那覇の士族社会

2020年1月8日(水)~3月9日(月)

首里士族である伊江家は、代々伊江島の総地頭として伊江按司を称し、伊江御殿と呼ばれていました。今回の企画展では、沖縄県指定文化財である「伊江家資料」を中心に、歴史博物館が所蔵する「池原家」「比嘉家」「福地家」などの古文書資料を合わせ、琉球王国時代の首里・那覇の士族社会を紹介します。



聞得大君辞令書(伊江家資料)



神猫図(横内家資料)

神猫図



【国宝】白地牡丹尾長鳥燕鶴菖蒲文様紅型平絹衣裳